

Weekly Report

2018-19年度
名古屋瑞穂ロータリー
クラブ会長のテーマ
「継続と変化」



創立：1980年(昭和55年)1月10日
会長：平野 好道
幹事：湯澤 信雄
クラブ委員長：長谷川 隆
例会日：毎週木曜日 PM12:30~
会場：ビルトシ名古屋

事務局：460-0008
名古屋市中区栄1丁目3-3 AMMNビル7F
TEL：052-211-3803
FAX：052-211-2623
MAIL：2760_nagoya@mizuho-rc.jp
URL：http://www.mizuho-rc.jp/

2018-19年度
国際ロータリーのテーマ
インスピレーションになる
(BE THE INSPIRATION)

インスピレーションになる

第1867回例会

～平和と紛争予防／紛争解決月間～
クラブテーマ：「熱田の杜・友愛・気品」

2019年2月18日(月) 晴れ 第27回 於：名古屋観光ホテル3F「那古の間」

司会：名古屋中RC 相羽康人、橋本美穂アナウンサー
点鐘：西名古屋分区分会ガバナー補佐 渡邊 一平
斉唱：「君が代」「奉仕の理想」

R.I.第2760地区 西名古屋分区分会 2018-19 INTERCITY MEETING

歓迎のことば並びに挨拶：西名古屋分区分会ガバナー補佐 渡邊 一平

皆様ようこそおいでいただきました。先ほどの「奉仕の理想」これだけ迫力のあるものを聞いたのは初めてです。感謝しております。今日は特別出席者として村井ガバナーにもご出席いただきました。名前は申し上げませんが、西名古屋分区分会のパストガバナーの方、たくさん出ていただいております。ありがとうございます。1年前、宮崎薫ガバナー補佐、名古屋東南RCが全力を挙げてインターシティミーティングをいたしました。素晴らしい会だったと思います。奉仕活動、名古屋瑞穂RCのドングリの話、名古屋大須RCの大茶会、名古屋名駅RCのバングラディッシュのサイクロンシェルター、そしてシンポジウム。素晴らしいアイデアでございました。大変感謝すると同時に次はこちらの番だ、何をやらねばいいかを相談しました。全てのロータリアンが共通して興味を持てるテーマがいいのではないかと、それでは「未来」はどうか。AI、ITの発展、未来が明るいのか暗いのか、気候も大変動の時代です。また、ロータリークラブも大きく変わろうとしているのかどうか。村井ガバナーにはこれからのロータリー象をお話していただきたいと思ってお願いをしました。村井ガバナーは職業奉仕の大ベテランであり、大変造詣の深い方である一方、ガバナーであると言うことで、国際ロータリーの流れもよく把握しておられます。私どもがロータリークラブに入った時は、職業人が集まって互いに研鑽を深めて社会に還元する、職業奉仕こそがロータリーの根源だと習ったはずで、ところが今の国際ロータリーでは職業奉仕という言葉が死語になりかけています。では私たちはどうすればいいのか、きっと村井ガバナーのお話は大きなヒントを与えてくれるのではないかと期待しております。講演でありますが、何をやるかと考え、車の未来、名古屋市の未来、あるいは人間の生命や健康の未来、色々な案が出されました。そんな時にNHKを見ておりましたら、各分野の教授に、学生にとって最後の講義だったとしたら何を話すのか、と言う番組をたまたま観ておりましたら、本日の講師であるロボットの第一人者である石黒先生が出演されておりました。ロボットというどうしても、なんの役に立つのか、いからの投資に対してどういう動きをするのか、そういう観点から効率的に見てしまいます。石黒先生のお話はそういうものとは違い、自分が研究を始めたのは、人間とは、自分とはなんなのかを知りたいから研究をしている、というお話でございました。家庭にロボットが入ってくるのもそこまで迫っていると思います。鉄腕アトムではございませんが、ロボットが家族の一員になる時代が本当にくると思います。人間とロボットの関わりをどのように考えていけばいいのか、そういう事につきまして、石黒先生の講演が多いにヒントになるのではないかと、思っております。第2部は親睦でございます。愛知大学のブルースタージャズオーケストラと名古屋観光ホテルのおいしい料理を肴に、皆様に親睦を深めてください。昔の友とも再会して、新しい友もぜひ作ってください。締めは13クラブの会長・副会長に登壇していただき、一分スピーチをやってみようと思います。クラブの顔は会長・副会長です。13クラブを知っていただきたい、それがI.M.のひとつのテーマです。なぜ締めスピーチを持ってきたのか、お分かりだろうかと思っております。我がクラブの会長・副会長のスピーチが終わらないうちは、帰るわけにはいかないですね。このI.M.を最後まで楽しんでいただきたいと思います。



特別出席者代表挨拶：第2760地区ガバナー 村井 総一郎

皆様こんにちは。このようにI.M.の場でご挨拶する機会をいただきましてありがとうございます。また主催である名古屋中RCの関係者の皆様、ありがとうございます。そしてご参加いただいている皆様に置かれましても感謝申し上げます。

渡邊一平さんとは職業奉仕委員会で数年一緒に過ごさせていただいたことがあり、その縁でガバナー補佐を務めていただいております。渡邊さんは面白い方で、秋にご自宅で採れたぎんなんをたくさん送っていただきました。通常I.M.でのガバナーの挨拶は5分程度だそうですが、今回は10分とお願いされております。ロータリーの未来について基調講演を、と言われましたが、それはお断りしました。代わりに特別出席者代表挨拶をということになりました。私は挨拶だけにしようと思っておりましたら、先ほど渡邊さんが「村井ガバナーはロータリーの未来について話に來られた」というようなことをおっしゃいました。そんなことは考えておりませんでしたので、挨拶と、その辺りのこともお話ししようかと思っております。ロータリーの未来を語るほどの見識は持ち合わせておりませんので、未来のことは石黒先生にお任せして、私は歴史的な話から今後のロータリーがどのように見えてくるか、話の中から皆様にロータリーの未来を感じていただくようにすれば、今回のI.M.のテーマにあたるのではないかと思います。ご承知の通り、RCは1900年にシカゴでポールハリスが4名の仲間と共に始めた社交クラブが起源です。はじめは奉仕などは未だ無く、信頼できる仲間が親睦を図って仲間同士で正常な取引を増大していこうと言うことが目的でした。いわゆる互惠取引というものです。そしてそれがシカゴの街に広がり、奉仕活動の変遷などがあり、親睦からはじまり奉仕へ移行していったという歴史があります。日本のロータリーは1920年東京で発足しました。来年で100年を迎えます。当時は東京のロータリークラブといいますが、英語が話せる方ばかりで、経済界の大物が集まった社交クラブでありました。アメリカの例会運営を真似はしましたが、奉仕活動には目がむいていませんでした。1923年に関東大震災が起こりました。その時に多くの災害見舞金に日本に寄せられました。R.I.や海外のRCから100ドルの義援金となりました。それに驚いた日本のRCは、このRCの精神を広めればと活動を始めました。1923年と言いますと、2334決議が出来て奉仕の形がある程度決まった頃です。そこで東京RCはアメリカへ行きRCの奉仕とはなにかを学び取ろうとしました。その時にとてもよい言葉が見つかりました。「もっともよく奉仕するもの、もっとも多く報われる」と言うシェルドンの言葉です。この言葉は近江商人の商人訓であります「売り手良し・買い手良し・世間良し」にもつながるので、経営者としての資質の向上に大変役に立つものでした。従いましてロータリーに入ると経済人としてそういったことを共に思える、そういった人達の集まりであるということでRCは広まっていきました。職業人としてロータリアンは憧れでもあり、信頼もされる、人格者であり倫理観も高い、世の人達のためになる事をしている高いステイタスを持った人達の集まりとして知られていきました。さらによいことは目立たずにやろうといわれております。「積善の家に余慶あり」という言葉はよいことを少しずつ積み重ねるととても良いことがある、善行を影で積み重ねましようということです。世間から一線を画し、そういった団体として発展を続け、現在およそ2300クラブあります。先ほど言いましたポールハリスが奉仕に目覚めてから世界はどうなったのでしょうか。国際ロータリーはなるべく多くの人に参加してもらい、目に見える奉仕をして支援者を増やそうとしていきました。決して経済人のステイタスとして広まったわけではありません。多くの人と手を結び手をつないで色々な奉仕をしていきました。そのためには寄付を求めましようということでもあります。ロータリーの活動はとてもよい行いであり、そう思うのであれば支援、協力をと広がりていったわけです。この事がここ数年のR.I.の方針に顕著に出てまいりました。日本が醸成してきた、先駆者達のいった職業奉仕を中心とする活動理念と乖離が出てまいりました。柔軟性、多様性という言葉の元に



ハードルが下がる。多くの職業を持たないロータリアンが入会することになってきました。ロータリーは人格形成、素晴らしい仲間作り、それでよかったのですが今はよいことをしようということでもあります。さらに補助金モデルの推進、戦略計画を推進というただ奉仕団体の違いを事業や規模であらわそうとしてまいりました。今までロータリーは閉鎖的ではありませんでしたが、ロータリー独自の他の団体とはここが違うんだ、とはっきり言えるような職業奉仕という理念を中心にやってまいりました。ところが今ロータリーはここが違うんだ、といえる理念ではありません。ポリオの撲滅に貢献している、世界中に何百万人という人とつながっている、そういうようなことを事業の内容や規模であったり、その事がロータリーの特色だというふうになってきております。ロータリーに入ることが理念や人格形成であったことが、今はロータリーという団体の運営の仕方を皆様に広くPRする、そういうふうな一見そのように見えるような運動に変わってきております。月2回の例会や、会員の職業をゆるめるとか、多様性や柔軟性と聞き方によっては大変便利な表現の元に、誰でも参加できるロータリー、こういう風に広がってきております。理念を語れる、リーダーを育てる、理念の解釈を極めたいロータリアンではなく、今後どのようにしていくかですが私が言える事は困っている人に手をさしのべる、相手の気持ちを理解して手助けをする、つまり思いやりの心の情勢と実践だと思えます。発展発達の上から一見違うように見えるロータリーの奉仕、その先にあるものは一緒ではないかと思っております。それが未来像として今日の色々な話の中から皆さんが見つめて、明日からのロータリー活動にいかして頂ければと期待を込めまして挨拶とさせていただきます。

プログラム

第一部 式典並びに講演会

- 16:00 開会 於：名古屋観光ホテル2階「曙の間」、3階「那古の間」
点鐘 …西名古屋分区ガバナー補佐 渡邊一平
国歌「君が代」及びロータリーソング「奉仕の理想」斉唱
歓迎のことば並びに挨拶 …西名古屋分区ガバナー補佐 渡邊一平
特別出席者ご紹介
特別出席者代表挨拶 …第2760地区ガバナー 村井總一郎
16:30 特別講演 …大阪大学名誉教授 石黒 浩氏
テーマ「人間型ロボットによって支援される未来の生活」
18:00 謝辞 …I.M.実行委員長 伊藤秀樹
次期西名古屋分区ガバナー補佐挨拶 …名古屋瑞穂RC 伊藤 豪
次期I.M.ホストクラブ会長挨拶 …名古屋瑞穂RC 関谷俊征
18:15 閉会・点鐘

特別講演

「人間型ロボットによって支援される未来の生活」

プロフィール

石黒 浩 大阪大学名誉教授

1991年大阪大学大学院基礎工学研究科博士課程修了。工学博士。その後、京都大学情報科学研究科助教授、大阪大学工学研究科教授等を経て、2009年より大阪大学基礎工学研究科教授、ATR石黒浩特別研究所客員所長（ATRフェロー）。2017年から大阪大学名誉教授。専門は、ロボット学、アンドロイドサイエンス、センサネットワーク等。2011年大阪文化賞受賞。2015年文部科学大臣表彰受賞。



次期ガバナー補佐挨拶：名古屋瑞穂RC 伊藤 豪

皆様こんにちは。ただいまご紹介にあずかりました名古屋瑞穂RCの伊藤豪と申します。次年度西名古屋分区のガバナー補佐を務めさせていただきます。よろしくお願い致します。ただいまホストである名古屋中RCの皆様と、渡邊一平さんには大変素晴らしい講話をいただきました。未来を感じるということで、10年、100年、1000年後を感じさせていただきました。次年度ですが、R.I.の会長はマーク・ダニエル・マローニーさんに決まっております。「ロータリーは世界をつなぐ」がR.I.テーマです。それを受けまして、2760地区の次期ガバナーは「グローバルに考え、地域社会とのつながりとロータリーを成長させよう」となっております。それに向けて私どもI.M.を進めてまいりたいと思っております。来年の2月27日にヒルトン名古屋で開催します。皆様多数のご参加をおまちしております。よろしくお願いを致しまして私の挨拶とさせていただきます。



次期I.M.ホストクラブ会長挨拶：名古屋瑞穂RC 関谷俊征

次年度I.M.のホストクラブである、名古屋瑞穂RC次年度会長の関谷俊征です。本年度I.M.の実行委員会を立ち上げて、すでに準備に取りかかっておりますけれども、全てはこれからということですので。今日は素晴らしい講演を拝聴し、人間の進化はロボットか、ということで驚くと共に寂しい思いもしております。このように素晴らしいI.M.を主催された名古屋中RCさんのように、一生懸命準備をして来年に臨みたいと思っております。一人でも多くの会員の方にご参加をいただきたいと思っております。どうぞよろしくお願いをいたします。



第二部 懇親会

- 18:30 開会
歓迎のことば並びに乾杯 …西名古屋分区パストガバナー補佐 杉本仁至
会食・歓談
18:45 アトラクション …ブルースターズジャズオーケストラ
19:15 西名古屋分区13クラブ会長より挨拶 …西名古屋分区ガバナー補佐 渡邊一平
19:45 御礼のことば …ホストクラブ会長エレクト 佐藤貞明
「手に手つないで」唱和
19:55 閉会



13クラブ会長挨拶：名古屋瑞穂RC会長 平野好道

皆様こんにちは。名古屋瑞穂RC会長の平野です。渡邊さんからクラブのトピックスをお話して欲しいということで、今年度より我がクラブがはじめたこととお話しします。会長挨拶の時間を使って会員の皆様にミニスピーチをやって頂くというものです。村井ガバナーの方針の中にミニメッセージを会員の皆様にお願いをして、楽しい事を企画しましょうと考えに基づいたものです。毎回ではなく、月に1回程度会員の皆様に数分のスピーチをしていただいています。最初の方は私が指名し、その方のスピーチではある事がきっかけで十数年ぶりに奥さんと手をつないだというお話から始まり、これはいいきっかけだと思いました。次の方を指名するのはスピーチをした方が話し終わった時にサプライズで次の方を指名します。ところがある日大きな事件が起きまして、若いメンバーが長老メンバーを指名しましたところ、会長挨拶は会長がするもので他のメンバーにさせるとはけしからんとおしかりを受けました。指名をしたメンバーは顔面蒼白になり、会場が静まりかえりましたが、最終的には指名を受けて頂けました。会長経験のある方でしたので、会長として挨拶をする準備、心構えなどをお話いただきました。その事を受け、クラブの内外を問わず、会長にふさわしい方なのに会長職を受けたがらないのはなぜなのか質問をしたところ、会長挨拶をするのが嫌だと返ってきました。そこで考えたのですが、今日の講演を聴いて、10年後にはロボットが会長挨拶をしているのではと思いました。



例会のご案内

- 今週の行事 2月28日(木) 1868回例会及びI.D.M.
場 所：ヒルトン名古屋4階「桜の間」
時 間：18:00～20:00
■次週の卓話 3月7日(木)
テ マ：素振りが出れば飛距離は伸びる
卓 話 者：JGTO ツアープロコーチ・ドラコンプロ 安楽 拓也さん
■次々週 3月14日(木) R規定により休会